

各学年の共同制作作品

1 年

きらきらえがおで おでむかえ

1年生のキラキラな笑顔とキラキラな飾りで、展覧会にいらした皆さんをお出迎えます。折った折り紙から生まれるすてきな模様。想像したものとは違う新たな形。作品が完成した喜び。展覧会に向けて取り組む中で見られた、子供たちの笑顔を想像しながら御覧ください。

2 年

力をあわせて大きな魚

国語で学んだスイミーのようにたち、みんなで一匹の大きな魚を作り上げました。一人一人が色の組み合わせを工夫して作った個性のある魚達が集まっています。どんな魚になっているのか、遠くから見たり近くでじっくり見たりしてお楽しみください。

3 年

ひなたキラキラステンドグラス

ひなた小の玄関にはたくさんの窓があります。光を通すカラーセロハンを使って、様々な形のステンドグラスをつくりました。ひなたから日が入ると影にも色がついてキラキラ光ってみえます。たくさん色や形のステンドグラスを御覧ください。

4 年

みんなはばたけ！

未来のひなた小

本町田ひなた小学校は2年後新校舎になると同時に町田第三小学校とも統合し、全員で800名ほどの学校になります。子供たちを鳥に例えて約800匹の鳥を描きました。未来のひなた小を思い浮かべながら一匹ずつ描きました。

5 年

ひなた小 IN SPACE

もしも未来のひなた小が宇宙にあったらどんな人や物や建物があるか想像しながら描きました。ブラックライトで光る蛍光絵の具を使って宇宙の中のひなた小を表しました。様々な生き物、星、建物。子供たちが想像する未来の学校をお楽しみください。

6 年

ぼくらの、わたしたちの

ウエルカム・サンキューゲート

展覧会にきてくれた人に感謝の気持ちを込めて、「ようこそ、ありがとうの門」をつくりました。体育館にある用具をうまく活用しながらつくっています。6年生最後の大きな学校行事に学年で協力しながらつくりました。

みどり

ねこねこ大集合！

ビニール手袋に好きな色のお花がみを詰めました。親指・小指は前足、人差し指と薬指は後ろ足、中指はしっぽにして作りました。夜になるとどこからともなく集まって猫たちの集会が始まります。にぎやかな猫たちをどうぞ御覧ください。

2025 年度

町田市立本町田ひなた小学校

開 校 記 念 展 覧 会 鑑 賞 ガ イ ド

～ひなた小初の展覧会 ちがいを楽しみ
たったひとつの美術館にしよう！～



うちゅうへGO!

絵の具を使って、グラデーションやぼかしなどの技法に挑戦し、宇宙を表現しました。様々なポーズで宇宙を楽しむ、宇宙飛行士になった「自分」にも御注目ください。

なかよし 空のたび

マスキングテープを使って模様を制作し、クレパスで丁寧に塗り、おしゃれな気球を描きました。自分と一緒に気球に乗るのは…。1年生と空の旅に出かけた気分でお楽しみください。

カラフルだるま

丸めた新聞紙の周りに、くしゃくしゃにした画用紙をペタペタのりで貼り、様々な手触りを楽しみながら制作しました。一人一人の「好き」が詰まった作品が完成しました。



手のひらから 生まれたよ

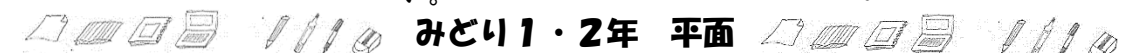
手のひらでスタンプした形や色から想像した生き物たちを描きました。手のひらの形がどんな生き物に変身したのか、発想の面白さをお楽しみください。

ふしぎなたまご

おしゃれな模様を、クレパスと絵の具の違いを楽しみながら描きました。「これが割れたらどんな生き物が出てくるのだろう？」と想像を膨らませて生まれた生き物たちを御覧ください。

わたしの すてきなぼうし

「ミリーのすてきなぼうし」を学んで、自分の帽子をつくりました。画用紙を重ねたりねじったりしていろいろな形をつくり出しました。個性あふれる帽子ができました。

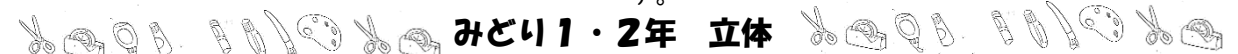


あじさい

ひなた小で咲いたあじさいを見ながら、色や大きさを考えて指スタンプで表しました。あじさいと仲良しの友達もいます。

おはながみのえ

ふわっとしたお花紙を丸めたり、ねじったりして貼り合わせています。色の組み合わせを考えて、カラフルな作品にしています。



だいすきパフェ

ペットボトルの飲み口がある上部を切り取り、底にくっつけて器をつくりました。細かく切った色画用紙やお花紙、紙粘土でつくったクリームやフルーツをトッピング。おいしそうなパフェができました。

ぎゅっとしたいわたしのおともだち

くしゃくしゃにしたクラフト紙を袋にして、中に新聞紙をつめます。するとクッションのよう。どんな「お友達」にするかを考えてつくりました。



3年 でこぼこアニマル大集合

ボール紙でいろいろな生き物をつくって、和紙に写しました。生き物がどんなところにいるのか想像して背景も描きました。どんな動物がいるのか探してみてください。



4年 希望の森の大きな木

ひなた小のシンボル、希望の森には大きな木がたくさんあります。お気に入りの木を見付けて、じっくりスケッチしました。クレヨンで線を描いて絵の具で仕上げました。



5年 季節を感じて

日本には四季があります。それぞれの季節のイメージを言葉で出し合いながらそれぞれが思う季節を感じたままに描きました。自分が経験したことやどこかで見たこと、好きな季節などを表しました。



6年 ポップ☆カラフル！ わたしの好きなもの

同じ版画の版を4枚刷って並べて一つの作品にしました。背景の色も自分でこだわりながらインクを混ぜて刷っています。色鮮やかな作品をじっくり御覧ください。



5年 家庭科 ランチョンマット

毎日の食事が楽しくなるように自分で布の色を選び、心を込めて作りました。ミシンの使い方を練習しながら、丁寧に縫い上げました。世界に一つだけのランチョンマットです。



平面 にじんだ世界に飛び込んで

にじみの技法を使って、色とりどりのにじんだ世界を表しました。形や色から思い付いたことを描き足してそれぞれの世界を描いています。



平面 切って、ならべて、 重ねて、はって

紙だけでなく、布やキラキラ光るテープなど様々な材料を切って、ならべて、重ねて、貼って表しました。材料の特徴を生かしてつくっています。



平面 だんだんだんボールアート

生活の中では欠かせない段ボール。その段ボールを切ったり、貼ったりしながらでこぼこのある段ボールアートを作りました。一度白く塗ってから色鮮やかに絵の具で色をぬりました。



平面 お気に入りのひなた小

学校の中で自分のお気に入りの場所を見付けて写真に撮りました。その写真を見ながら今までの思いをのせながら丁寧に描きました。色はパステルを使っています。



3年 世界に一つのマイグッズ

空き容器を組み合わせて、世界に一つだけの自分のグッズを作りました。用途を考えながら、空き容器の形を生かして紙粘土を貼っています。



4年 マイリトルガーデン

小さな私だけのお庭になるように土粘土を使って植木鉢をつくりました。焼くと赤くなるテラコッタという粘土を使っています。植物を植えたら小さなお庭が生まれました。



5年 わくわくワールド

一つの木を二つに割って、それを4つつなげて木の枠を作りました。電動系のこぎりを使って板を切って、思い付いた形を貼り付けています。様々なわくわくワールドができあがりました。



6年 PATAPATA ボックス

90cmの長い板を切って、どこかが開いたり閉じたりする箱を作りました。扉は蝶番を使って開閉する仕組みになっています。色を塗ったり、ニスを塗ったりして仕上げました。



立体 トンギコさんのすみか

のこぎりで木を切って、釘で目や手足を打って生まれたトンギコさん。そのトンギコさんが住む家をつくりました。木は多摩地区の木の端材を使っています。



立体 ギコギコトーテムポール

希望の森の入り口にあるトーテムポール。元々はアメリカの先住民が願いを込めてつくった魔除けのような柱です。願いを込めながらのこぎりを駆使してつくりました。



立体 名品ぞろいのひなた焼き

図工室の隣、工作室に校庭から見える焼き窯。その窯で信楽粘土でつくった器やお皿を焼きました。一度焼いた後にうわぐすりをかけて、生活の中で実際に使える作品ができました。



立体 白くなったら見える世界

材料を真っ白にすることで、そのものの形がよりくっきりと分かります。形に着目しながら白い世界をつくりました。どんな材料があるか探してみてください。



みどり3・4年 たけのこ

ひなた小の希望の森にはえていたたけのこを描きました。色や形を見ながら思いのたけのこを表現しました。



みどり3・4年 くねくねへび

のこぎりで切った角材と角材の間にうすい板を釘で打ち、ジョイントしていきました。すると蛇が動く仕組みができます。色や形を考えて自分だけの楽しい蛇が完成しました。



みどり5・6年 私の二つの気持ち

私たちの心の中にはいろいろな気持ちがあります。一日の中でもうれしかったり楽しかったり、がっかりしたり…。そのような思いを画用紙に、色や形で表しました。



みどり5・6年 私の小物入れ

60 cmと 45 cmの板を使って小物入れを作りました。背板には思い思いの絵を描いて、箱のふたには蝶番をつけています。いろいろな工具と、絵の具やニスで作り上げています。



平面 絵の具 けんきゅうじょ てぶくろ

いろいろな色で筆をはしらせたり、身近な材料でスタンプを押したりしました。画用紙の構成も考えながら表しました。「てぶくろ」というお話を聞いて自分だったらどんな生き物をしてぶくろの中に入れようか考えました。季節も考えて描いています。



立体 なぞの島発見！

ボウルやペットボトルを型にして布をかぶせて液体粘土で固めて島をつくりました。そして周りは海。何がいるのか何があるのか、発見者の気持ちになってつくっています。



平面 摺って重ねて

加工しやすいスチレンボードにへらや割りばしで模様をつけていきます。模様をつけては摺り、また模様をつけて摺ることを繰り返して色を重ねていきます。すると思いがけない色と形が表れました。



立体 ダンボールでつくってみた

段ボールをカッターで切ったり折り、曲げたりして思い付いたものをつくりました。段ボールの強度を生かしながら立体にしています。段ボールの質感も味わってください。

本日は、お忙しい中展覧会にお越しいただき、ありがとうございます。開校記念展覧会第一回目は、たてわり班での展示となっています。たてわり班とは全校児童が学年を越えて交流し、6年生を中心に遊びなどの活動をする班のことです。たてわり班で展示することで鑑賞する際に自分の作品や同じ班の児童の作品を見付けやすいこと、自然と他学年の作品も見られることなどをねらいとしています。展覧会には様々な作品が展示してあり、その中には大人の視点から観て、不思議に感じる作品もあると思われます。ただ観た瞬間の印象だけで評価するのではなく、作品を見る視点として『STEP1 近付いてみる、STEP2 描いた順番をたどる、STEP3 その子の理由を考える』という順番で見えてみると、その子が何を考え、感じて描いたのかを探ることができます。展覧会を通じて、子供たちの作品を見る楽しさを味わっていただけたら幸いです。

※奥村高明『子供の絵の見方』東洋館出版社より一部抜粋

図画工作科 三浦 香織